

海田町立海田西中学校 第 3 学年 なかおさき 中尾早希

「ひまわりのプランターを贈ろうプロジェクト」の提案

～ひまわりを通じて魅力あるまちづくり～

私は、海田町内の小中学校で育てたひまわりを、町内の公共施設や、日頃からお世話になっている地域の事業所などに贈る、「ひまわりのプランターを贈ろうプロジェクト」を提案します。

今年のこども議会で、私たち海田西中学校生徒会は、JR 海田市駅からひまわり大橋に、ひまわりのプランターを置く、「ひまわりロード」の設置を提案しました。「海田きん祭・よりん祭」で、ひまわり大橋に私たちの育てた、ひまわりのプランターを実際に置くことができ、たくさんの町民の方々に、きれいなひまわりを見ていただくことができました。

私は、この取組を、イベントだけで終わらせるのではなく、町花であるひまわりを、海田町内の小中学校で育て、町内の公共施設、日頃からお世話になっている地域の事業所などに、ひまわりのプランターを贈り、ひまわりを通じて海田町の魅力あるまちづくりに、私たちが参加できないかと考えました。

私は、このプロジェクトの実現のためにまず、町内の小中学校に、ひまわりの栽培の実施状況について電話でインタビューをさせていただきました。

結果は、本数こそ違いますが、町内 4 校の小学校で、ひまわりの植栽をしているそうです。私たち海田西中学校でも、ひまわりのプランターを育て、たくさんのひまわりが咲いています。

ひまわりを育てる取組も 2 年目となり、今年度も海田のひまわり屋さんのご指導とご協力をいただいて、たくさんのひまわりが学校で咲いています。西中では、玄関や校門に置き学校の前を通られる地域の方々に見ていただいています。

海田の町花であるひまわりを通じて魅力あるまちづくりに、わたしたちが、参画できないかと考えました。

私は、プランターで育てたひまわりを、町内の公共施設や職場体験にご協力いただいている事業所に贈ることで、日頃お世話になっているみなさんに感謝の気持ちを表すことができ、また町花であるひまわりを、夏に町内の様々な場所で見ることができるのではないかと思います。

この取組を実現させるためには、海田町の財政上の支援が不可欠です。今年、西中ではひまわりを育てるために、約4万円がかかっており、担当の先生に聞くと、ひまわりを育てるのに、必要となる費用を学校で出していくことは、大変難しいと伺いました。これだけの費用がかかっているのに、約55個のプランターしか育てることができません。

また、生徒と先生だけでは上手にひまわりを植栽していくことが難しく、海田のひまわり屋さんなどボランティアのみなさんのご協力がないと上手にひまわりを育てていくことができない状況です。

海田町として、「ひまわりのプランターを贈ろうプロジェクト」に参加できる学校には、財政上の支援が可能かどうかを伺いたいです。

また、海田のひまわり屋さんのようなボランティアのみなさんのご協力を町として支援してもらえるのかを合わせて伺いたいです。

私は、ひまわりを通じて魅力あるまちづくりを進めていくために「ひまわりのプランターを贈ろうプロジェクト」を提案します。

#### 【再質問】(予定)

ひまわりを広めるために、現在海田町でどのような取り組みをしていますか。